



総長 鎌田 薫

Waseda Vision 150と中野校開校

—祝辞に代えて—

修了生の皆さん、紺碧賞を受賞された皆さん、おめでとうございます。また、エクステンションセンター中野校開校を心より祝福いたします。

本学は、一昨年に、創立150周年を迎える20年後の本学の姿を描いた中長期ビジョン「Waseda Vision 150」を策定いたしました。これは、「世界に貢献する高い志」をもった個性豊かな学生がキャンパスで切磋琢磨し、「世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する」独創的な研究が盛んに行われ、「グローバルリーダーとして社会を支える」卒業生が社会で活躍すると同時に大学と緊密に連携し、これらを可能にするための経営基盤を確立して「アジアの大学のモデルとなる進化する大学」を実現する、という4つのビジョンと、それを具体化する13の核心戦略からなるものです。その中で、大学の社会への開放と社会人教育プログラムの拡充は大きなテーマになっています。

エクステンションセンターは、本学の生涯学習機関として1981年に発足し、以来、本日修了を迎

えられ、または紺碧賞を受賞された皆さまをはじめとした多くの方々に支えられ、現在では年間約1,800講座に対し約3万人の方々に受講いただくという国内屈指の生涯学習機関に育ちました。同センターは、「Waseda Vision 150」の実現に向け中心的な役割を担う機関であり、その大きな第一歩として、ここに中野校が開校したことは大変に喜ばしく、その発展を強く期待するものであります。

もとより、このビジョンは、真の世界平和と人類の幸福の実現のため、社会における本学の使命をまとめたものです。中野、杉並をはじめ広く武蔵野に住まい、勤め、集われる方々が、自らの生涯の一層の充実のため中野校をご活用いただくとともに、中野四季の都市に人々の新たな回流が生まれることとなれば、これに勝る喜びはありません。ぜひ、今後の早稲田大学エクステンションセンター中野校の展開にご期待いただきたいとの願いを披歴し、私の祝辞とさせていただきます。



所長 加藤 哲夫

早稲田校、八丁堀校、そして中野校

—2014年度修了式・開講式にあたり—

修了、そして紺碧賞の受賞。おめでとうございます。多くの皆さんが学習を継続し、この春を迎えられるのを拝見し、私たちスタッフは大変うれしく思っております。会員お一人おひとりが十分に学ぶことができるよう、スタッフはいつもその環境づくりを考えています。皆さんにとって、このエクステンションセンターで学ぶことが生活の中心にあるよう、これからも心掛けてまいります。今後、さらに学びのステージを上っていかれることを心よりお祈り申し上げます。

ところで、早稲田大学エクステンションセンターは、「生涯学習」というキーワードで示されるように、多くの皆さんの生涯にわたる学びのステージに、質の高い多くの講座を提供しています。大学が有する知的資産を広く社会に開放し貢献することに、Waseda Vision 150にある社会人教育の一翼を担う当センターの役割があります。私たちは、早稲田大学の未来、そして生涯学習社会を見つめて、早稲田校、八丁堀校に加えて、この4月に中野校開校という新たなチャレンジをすることに至りました。

Waseda Vision 150には、グローバルリーダー育成のために社会人教育を充実させ、各種社会人教育事業を学習者の「キャリアアップ」と「ライフステージ」に沿って体系化した「プログラムサイクル」として再構築し、早稲田大学の社会人教育の今後の在り方を提案、実行するという目標があります。

社会人教育における面で、早稲田大学が生涯学習において果たすべき特段の責任を、社会に明確に宣明したものとしては画期的であると、私は考えています。エクステンションセンターのオープンカレッジは、その一環として早稲田校、八丁堀校とともに、中野校を開校いたしました。学習者の目線に立って、講座の充実をいっそう図るとともに、受講の機会をさらに広げたいと考えています。早稲田校、八丁堀校、中野校それぞれのエリアの特長をさらに生かしながら、多くの皆さんの学びのニーズにいっそう応え、貢献していきたいと思っています。多くの皆さんの参加を心よりお待ちしております。